

# フミフレ通信



## 秋が「深まる」理由と、 空気が乾燥していますので、ご注意を!

前回「何故、秋だけ深まるのか?」と書きましたが、その後、気になったので調べてみました。

「深い」という言葉には「表面や入口から底や奥までの距離が長い」という意味があり、つまり「奥行き」があることを「深い」と表現するのだそうです。日がだんだん短くなる、気温も徐々に下がり、葉は色づき、やがて散る。秋の始まりから終わりにかけて、日に日に変化していく様子が奥行きを感じさせ、「秋が深まる」という表現になったのでは?とのこと。

ところで、そんな秋ですが「空気が乾燥する」のも、この季節ならではのです。朝起きて、鼻の中やお肌がちょっと乾いているなど思うこの頃、気をつけなくてはいけないこと—それは「火事」です。11月9日から15日まで「秋の火災予防運動」が実施されます。火の取扱いには充分注意しましょう。「火の用心、マッチ一本、火事のもと」。

誰もが知っているこの標語「火の用心」の発祥が、一通の手紙だったことをご存知でしょうか。

「一筆啓上 火の用心 お仙泣かすな 馬肥やせ」。これは、徳川家康の家臣であった本多作左衛門重次が、戦場から妻に送った手紙として知られ、手紙文の手本として今日でもよく紹介されています。消化器や消防車のない時代、くれぐれも火の取り扱いには気をつけること、まだ幼い大事な後継ぎのお仙(仙千代)を気遣う思い、武士の宝である馬を大切にする気持ち...。短い文章の中に伝えたいことがギュッとつまっていますね。

こういう手紙を読むと、手紙というのは文章の巧みさや言い回しだけじゃないんだなあと感じます。手紙なんて書き方じゃない、気持ちが伝わるのが一番です。さて、今回はこのへんで。乱筆乱文お詫び申し上げます。

次回の会報は**11月13日(金)**に発送いたします。そのため、お手紙の回送受付は発送日前営業日の**11月12日(木)**までに事務局に届いたものとなります。事務局への到着日をご確認のうえ、お送りくださいますようお願いいたします。また、事務局へのご意見・ご要望などがありましたら、事務局宛にお便りをご同封ください。下記メールアドレスでも受け付けております。お気軽にご連絡ください。 [customerservice@fumifure.jp](mailto:customerservice@fumifure.jp)

